

氏名 植 田 琢 佐

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 1145 号

学位授与の日付 昭和55年 9 月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
(学位規則第 5 条第 2 項該当)

学 位 論 文 題 目 心停止蘇生後の脳障害に関する実験的研究

第 1 編：髄液腔エラストランスの経時的変化について

第 2 編：バルビタール療法の髄液腔エラストランスにおよぼす影響について

論文審査委員 教授 西本 詮 教授 寺本 滋 教授 大月 三郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

心停止に伴って発生する脳障害をいかに予防，治療するかは救急医療において重要な課題である。

本論文は短時間の心停止が中枢神経系におよぼす影響を，髄液腔エラストランスの変動を測定することにより24時間観察した。さらに，バルビタール療法が心停止後の脳腫脹にいかなる効果を与えるかをも研究したものである。

第 1 編：脳腫脹の発生経過には脳実質の低酸素症による変化のみでなく，他の組織の障害の程度，蘇生に要した時間などが相互に影響し合っている。心停止は短時間であっても中枢神経系が受けた影響は24時間以上持続する。

第 2 編：心停止蘇生後のバルビタール療法は，全身性の代謝回復の遅延，心機能の抑制などの副作用による悪影響をもたらしたのみで，予後の改善を明確に示す結果は得られなかった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は麻酔学及び救急医学領域における心停止時間と蘇生後脳障害との関連について，髄液腔エラストランス測定法を用いて実験的に研究したものであるが，従来充分明らかでなかった心蘇生所要時間と脳障害の発生程度及びそれに及ぼすバルビタールの影響について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。